



ロータリー:
変化をもたらす



2017-2018 年度

国際ロータリー会長 / イアン H.S. ライズリー 会長 / 佐々木 哲也 副会長 / 小汀 泰之
2690地区ガバナー / 池上 正 幹事 / 曾田 敏康 会計 / 高砂 明弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365 / IP : 050-5204-5816
URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
4月26日	地区研修協議会報告 ②	福田・佐々木・原泰 会員
5月3日	休会	
5月10日	ホテルほり江 18:30~	2100 回例会
5月17日	クラブ協議会	クラブ細則の改正について

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
44	35	9 (5)	89.74 %	95.00 %

■欠席者

大島淳 / 飯塚俊 / 石原俊 / 園山 (山根 / 牧野 / 遠藤 / 大谷厚 / 岩浅)

■来訪者 なし

■メークアップ

4/19 加藤昇・飯塚大・大谷厚・大谷良・佐々木・園山・曾田・杉原 田中久・田中浩・土江・恒松・内田・山口 (家庭集会)

■次回例会受付当番

(5月10日) 大谷良治 / 飯塚大幸 / 飯塚沼夫
(5月17日) 田中久雄 / 飯塚俊之 / 石原俊太郎

■近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう)

月	出雲中央 5/28(-) 6/18 6/25(-)	松江南 5/7 6/18 6/25
火	出雲 5/1(-) 6/26	松江しんじ湖 5/1 6/19 6/26
水	大社 5/2(-) 5/9 5/30	松江 5/2 6/20 6/27
木	(-) ; ビジター受付 なし	松江東 4/26(-) 6/21 6/28(-)
金	出雲南	

■会長挨拶

4月22日はアースデイでした。当日、イアン・ライズリーRI会長から、「私が呼びかけた植樹チャレンジに皆さんは取り組まれましたか？」という件名の電子メールがマイロータリーに登録したアドレス宛に届きましたので、紹介します。

『親愛なるロータリアンの皆さま』

私は、今年度の初めに、みんなで植樹をすることを呼びかけました。その意図は、2つあります。一つは、私たちは木から恩恵を受けているからです。二酸化炭素を吸収し、酸素を生み出し、あらゆる生物に生息地と食糧を提供し、土壌の質を向上し、気候や、私たちの気分も良くし、ほかにさまざまな形で環境改善に貢献しています。もっと木を植える必要があり、すべてのロータリークラブが共に植樹プロジェクトを行えば素晴らしいと思うのです。もう一つの意図は、ロータリアンの皆さまが4月22日のアースデイまでに木を植えることで、ロータリーではあまり取り上げられない環境問題について意識を高めてほしいと思ったからです。ロータリーの重点分野には含まれていませんが、現実として環境はロータリーの活動全般に関係しており、無視するわけにはいかない問題です。環境問題に目を向け取り組むには、その場しのぎの対応をするのではなく、環境悪化を防ぐにはどうすればよいか考えることが大切です。より良く、より健康で、より平和な世界を築くには、その土台となる地球が健康でなければなりません。是非、アースデイ以後も木を植え続けてください。そして木の成長を見守りましょう。』

日本ではアースデイはあまり認知されておらず、地球の環境保全に関する記事やニュースは見かけませんでしたが、21日土曜日は川本町で 32.1℃を記録するなど、地球の温暖化は間違いなく進行していると思います。

4月22日のアースデイは、アメリカで開催された討論集會がきっかけとなって世界に広まったようですが、そのアメリカが気候変動に関するパリ協定を離脱すると宣言しており、現在の迷走するアメリカを象徴している気がします。

■幹事報告

1. 例会変更

- 松江南 RC 6/18(月) 夜間例会(最終例会・クラブ協議会)
ビジター受付 12:00~12:30 松江エクセルホテル東急
- 松江しんじ湖 RC 6/19(火) クラブ協議会(夜間例会)
ビジター受付 12:00~12:30 すいてんかく

2. 休会

- 松江南 RC 5/7(月) 6/25(月) 定款による
ビジター受付 12:00~12:30 松江エクセルホテル東急
- 松江しんじ湖 RC 6/26(火) 定款による
ビジター受付 12:00~12:30 すいてんかく

3. 例会変更訂正

- 出雲中央 RC 5/21(月) 移動例会 → 通常例会

■委員会報告

プログラム委員会 : 5月・6月の例会プログラム予定表配布

■スマイル

佐々木 (4月29日都武自神社のお祭りがあり、町内の神社係3年任期の3年目で、最後のお務めとして旅伏山に登ります。連休中は筋肉痛が続くそうですが例会がないので助かります。)

■スピーチ・例会行事

地区研修・協議会報告 ②

社会奉仕部門 福田 磨壽穂
カウンセラーに鳥居滋パストガバナー、伊藤文利パストガバナー、リーダーに荒川謙三次期ガバナー補佐、副リーダーに佐野重治次期ガバナー補佐、砂田忠次期ガバナー補佐の出席で開催されました。

はじめに、鳥居滋パストガバナーから地区補助金の活用について以下の話がされた。地区補助金の申請を1回もしていないクラブが若干あり、1回申請したクラブが8クラブ、逆に、毎年申請しているクラブが8クラブあります。来年度地区補助金は、33クラブから申請がされました。できるだけ多くのクラブが申請して欲しいとのことでした。地区補助金の活用についても、奉仕における持続可能性が必要になってきます。

次に、荒川謙三次期ガバナー補佐の司会により、社会奉仕部門の活動報告がされました。

- 過去2~3年における社会奉仕活動の内容について
 - 地区補助金等を活用された活動について
 - 2018~19年度、或いはそれ以降で計画されている活動について
- 以上の3項目につて、第1グループから第11グループまでの各グループの代表から活動報告がありました。活動の内容については、主に環境問題、子供に関する活動が多かったです。

最後にリーダーの荒川謙三次期ガバナー補佐から、「地域のニーズを奉仕活動に生かして欲しい。」旨の話があり、社会奉仕部門の協議会は終了しました。

国際奉仕部門

佐々木 哲也

地区研修・協議会の部門別協議会では、カウンセラーに橋本バスタガバナーと森本バスタガバナー、そして第4グループ出雲南RCの土井豆次期ガバナー補佐をリーダーとして、事前アンケートを元に、指名されて発表・討論が進みました。国際奉仕の具体的な活動内容について多くのクラブから発表されました。

①過去2～3年における国際奉仕活動の報告は、交換留学生、台湾・タイ・マレーシア等のロータリークラブと姉妹クラブとなつての相互訪問、カンボジアやラオスの小児病院支援、カンボジアでの歯科検診など。平田は、今年2月に飯塚大幸会員が実施されたインドへの使用済みメガネの贈呈に対して後援したことを発表しましたが、倉吉中央RCでもメガネボランティアのNPO代表を務められる眼鏡屋の会員さんがクラブの国際奉仕活動としてメガネを贈呈されるという同様の活動報告がありました。

②地区世界社会奉仕資金(WSC)を活用した事例として、出雲RCのハートセービングプロジェクトが活動されるモンゴルへのエコ機器贈呈のほか、台湾の小学校への浄水器設置、ベトナムの小中学校への古本回収した絵本の贈呈、ネパールでの女性向け職業訓練など発表されました。

その他、米山記念奨学金寄付や米山記念奨学金生に関する取組もいくつか発表がありました。

最後に、お二人のカウンセラーから、国際奉仕の事前アンケートに具体的な活動の記載がないクラブが8クラブ程度あり、国際奉仕も積極的に取り組んでくださいとの厳しいコメントがありました。今回も、飯塚大幸会員のインドへの使用済みメガネの贈呈の活動がなければ、具体的に記載する活動がないところでした。

奉仕活動をすることが、資金的にも体力的にも負担になるものは、持続できません。最後の全体会議では、部門別会議では発表されなかった活動の一部と思われる使用済み切手の回収について紹介されました。使用済み切手の中には、切手収集家が高値で購入を希望するものがあるようです。回収した使用済み切手を、たとえば「公益財団法人ジョイセフ」に送付すると、その収益は途上国の女性支援という形で国際奉仕に役立てられるようです。こういった活動であれば、あまり負担にならない活動になり得るのではないかと思います。もう少し詳しい情報を入手し、次年度の活動計画を検討したいと思います。

青少年仕部門

原 泰久

青少年奉仕部門の研修報告に関して、要点をしばってお話致します。

はじめに『過去の活動報告』についてと言う項目では多くのクラブが取り組んでいるのがスポーツ系、文化系の事業です。非常に多くの活動報告がありました。

まず、スポーツ系ですが、私も興味がある活動として「松江RCのスサノオマジックとフリースロー大会」、「鳥取北RCのガイナレ鳥取のスタッフボランティア」などプロと触れ合う機会の少ない地方では青少年のプロ選手から刺激・感動・励みなどの面において素晴らしい活動であると思います。

文化系では弁論大会、作文コンテスト、写生大会、平田クラブの新春コンサートの支援、子供が書いた標語入りカレンダーの作成等、沢山の事例があります。

奉仕関係では、留学生の支援、高専や工業大学が地域にあるクラブではロボットコンテスト。その他には砂丘清掃、災害時におけるボランティア活動の実践のための研修や「子供食堂」を行う団体への支援など多種多様です。

また問題点の一つとして補助金申請の申し込み期限と、新年度が7月から始まるので申請と新年度の開始がマッチしていないと言う発表がございました。他の問題点ではクラブ財政との兼ね合い、事業の継続問題などが議題に上がりました。各クラブに共通していることは、子供達とメンバーがふれあい大人になって将来的に地域に帰り奉仕や活性化の一躍を担ってほしいという考えです。

また他の項目で意見交換の時間を割いたのはロータクトとインターアクトについてでした主にインターアクトについて意見が多かったです。近くでは松江西高校、出雲西高校、北陵高校と私立高校は学校として理解があるようですが、生徒がどのような気持ちで関わっているのかは、わかりません。将来ロータリアンに期待していると言う意見を言われた、石見智翠館高校では会員とポリオ街頭募金をともに行っているとのこと。現在は他にも奉仕活動をする団体が沢山あり私立高校以外は非協力的と言う意見もありました。

「RYRA」について、どういう意味か調べましたらロータリー青少年指導者養成プログラムでした。さらに詳しくは、調べていません。また、家庭集会でも勉強させていただければと思います。お話し宜しくお願い致します。

以上で研修報告は終わります。



インスピレーションになろう